

ご覧ください
LIAJ ⑩



広島産肉能力検定場の業務紹介

広島産肉能力検定場 場長 神田 則昭

改良部（肉牛）・北海道産肉能力検定場に続いて、「肉用牛改良事業の業務紹介」第3弾をお送りします。（一部重複する部分がありますのでご了承ください。）
当団では、肉用牛の種雄牛選抜過程の一段階である「産肉能力検定」を年間700頭余の規模で実施しています。このうち、過半数の400頭弱を当団の検定場（北海道と広島）で飼養しており、今号では、開設から42年を迎えた広島産肉能力検定場を紹介します。

1. 検定場設置のねらいと経緯

当検定場は、和牛の産肉性の遺伝能力評価のため、候補種雄牛の産肉能力検定を実施し、肉質等の遺伝的能力に優れた種雄牛を選抜することを目的として、当時、農林省の中国種畜牧場が所有していた土地（採草放牧地）の一部を譲り受け、昭和56年度から整備を始め、昭和57年度から検定業務を開始しています。

また、平成19年度から産肉能力検定の手法を変更

し、間接検定法から現場後代検定法へ移行して現在に至っており、これまでに現場後代検定で肥育した調査牛（候補種雄牛の産子）の頭数は、繋養中も含めて3,300頭余に上ります。

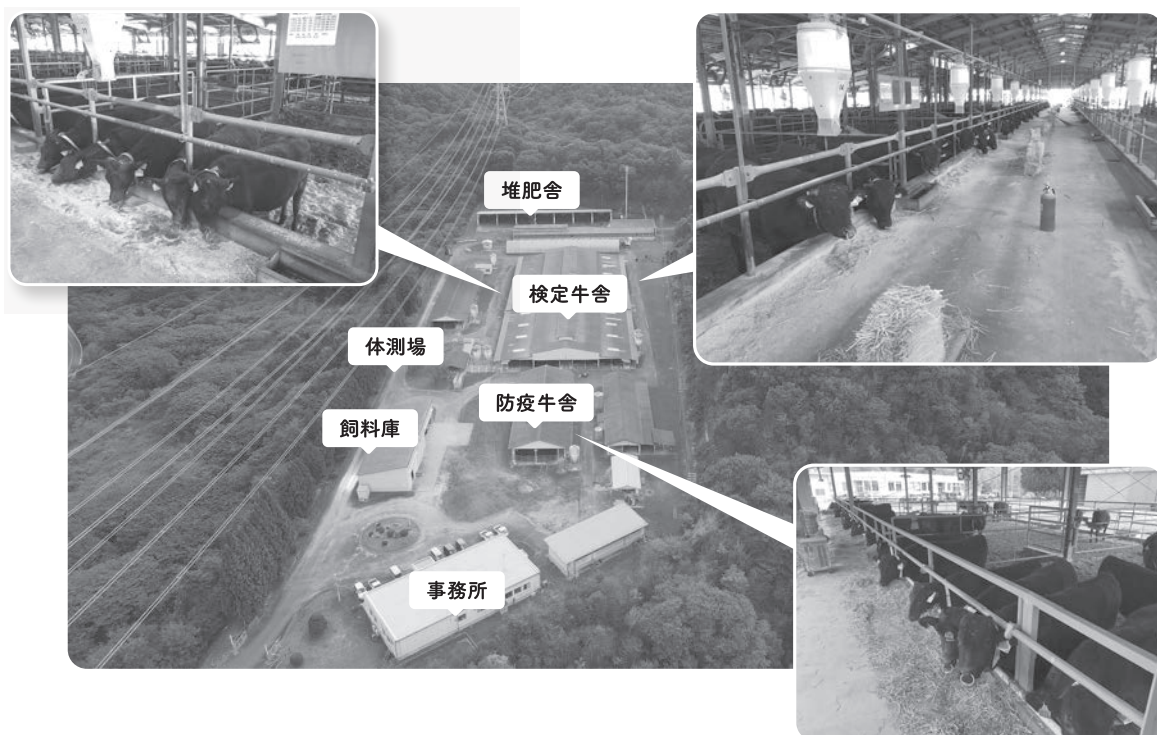
2. 位置および気候

当検定場は、広島県中央地域の南に位置し、山陽自動車道河内インターチェンジから南に2 km、広島空港から南西に5 km、山陽新幹線東広島駅から東に16km、瀬戸内海まで10kmの地点にあります。

年間平均気温は13.7℃（最高32.1℃、最低-3.0℃）、年間降雨量は1,458mm、年間日照時間は1,926時間と瀬戸内海気候の温暖な地域です。

3. 検定場の業務について

当団では、候補種雄牛の産肉能力検定を実施するにあたり、半年ごとに検定回次を設定しており、1回の



検定回次で候補種雄牛15頭から生まれた調査牛350頭前後を現場後代検定にかけています。調査牛を生産していただく際には限定した約2ヵ月間に交配をお願いしていますので、検定場が調査牛を導入する時期も限定されます。概ね、4～5月と10～11月にそれぞれ100頭程度の調査牛（8ヵ月齢前後）が、北海道を除く全国の協力地域から広島へやって来ます。

出荷は和牛種雄牛現場後代検定法に従い、終了日（＝出荷日）の月齢が去勢は29ヵ月未満、雌は32ヵ月未満での生体出荷を月に1～2回、計画的に行っており、そのほとんどを東京食肉市場に出荷しています。

当検定場では検定回次として4回次分の調査牛を飼養しており、導入が春と秋に集中しているため、年間の飼養頭数は半年サイクルで300頭から400頭の間を増減しています。

導入した調査牛は、まず防疫牛舎（10頭群飼牛房×6牛房）で1ヵ月程度の観察及び馴致期間を経た後、検定牛舎へ移動させます。検定牛舎は5頭群飼×20牛房×4列の配置となっており、一つの列に同じ検定回次の調査牛約100頭を収容しています。

4. 調査牛の生産県や発育の分布から見えるランダム交配

前述のとおり、当検定場には全国各地から様々な子牛がやって来ます。その状況を現在飼養中の、R03前期からR04後期までの4回次分（去勢242頭、雌146頭）の集計結果で紹介します。

表1は県別の生産頭数と全体に占める割合（シェア）を示したもので、東北・関東・中部・中国・四国・九州と全国各地方で生産されています。

図1及び2は、検定場が導入した牛の発育を現地出発時の日齢体重（体重÷日齢）で示したものです。去勢、雌ともに正規分布に近い分布となっており、このことから、調査牛集団は偏っていないことが推定できます。

このように、ランダムに生産された調査牛を用いて、同一環境で肥育して獲得した産肉データに、ゲノム情報を加えることによって、より精度の高い遺伝能力を推定する（＝G評価）ことが可能となっています。

これからも、全国の和牛生産に関わっていらっしゃる皆様のご協力をいただき、信頼性の高いG評価を基にした種雄牛選抜が継続できるよう、現場後代検定を行っていきます。

表1 生産県別頭数（導入R4.10月～R6.5月）

生産県	去勢	雌	雌雄計	シェア
秋田県	26	7	33	9%
山形県	3	2	5	1%
福島県	19	9	28	7%
栃木県	29	14	43	11%
群馬県	34	14	48	12%
新潟県	5	4	9	2%
長野県	8	8	16	4%
愛知県	2	0	2	1%
三重県	1	0	1	0%
鳥取県	8	9	17	4%
岡山県	21	17	38	10%
広島県	5	2	7	2%
山口県	3	0	3	1%
徳島県	17	19	36	9%
香川県	3	2	5	1%
愛媛県	11	12	23	6%
佐賀県	1	0	1	0%
熊本県	24	14	38	10%
沖縄県	22	13	35	9%
	242	146	388	100%

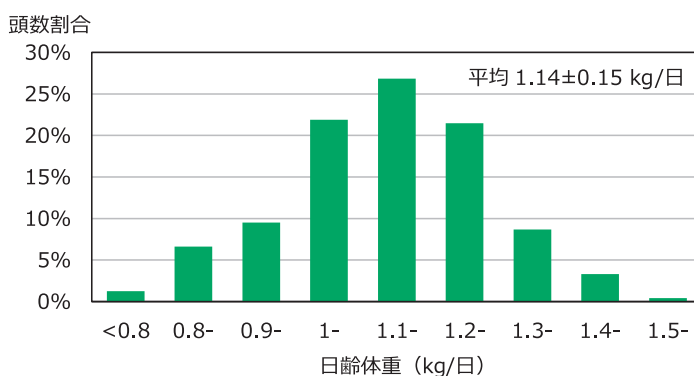


図1 調査牛(去勢)日齢体重の分布（導入R4.10月～R6.5月、242頭）

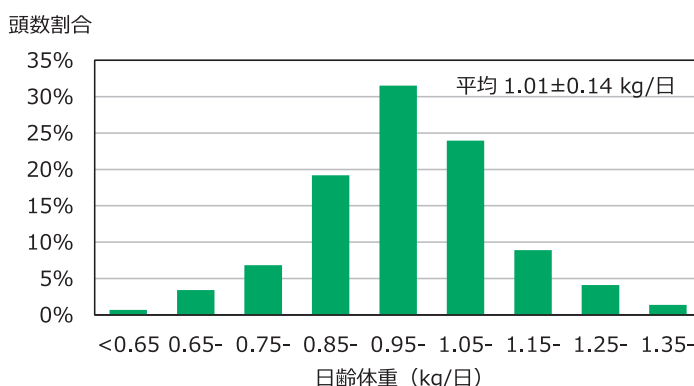


図2 調査牛(雌)日齢体重の分布（導入R4.10月～R6.5月、146頭）